



2015年12月期 本決算説明会

2016年2月17日

株式会社ツバキ・ナカシマ

免責事項



本プレゼンテーション資料は、本プレゼンテーション資料の日付現在において有効な経済、規制、市場及びその他の条件に基づいており、当社は本プレゼンテーション資料の情報が正確又は完全であることを保証するものではありません。今後の動向が本プレゼンテーション資料に含まれる情報に影響を与える可能性があります。当社は本プレゼンテーション資料に含まれる情報を更新、改訂又は確認する義務を負いません。本プレゼンテーション資料に含まれる情報は、事前に通知することなく変更されることがあり、当該情報の変更が重大なものとなる可能性もあります。本プレゼンテーション資料及びその記載内容について、当社の書面による事前の同意なしに、公開又は利用することはできません。

本プレゼンテーション資料には、1995年米国私的証券訴訟改革法上の将来予想に関する記述を構成する記載(推定値、予想値、目標値及び計画値を含みます。)が含まれております。当該将来予想に関する記述は、将来の業績について当社の経営陣が保証していることを示すものではありません。当社は、将来予想に関する記述を特定するために、「目指す」、「予測する」、「確信する」、「継続する」、「試みる」、「見積もる」、「予期する」、「施策」、「意図する」、「可能性がある」、「計画」、「潜在的な」、「蓋然性」、「企画」、「リスク」、「追求する」、「はずである」、「努力する」、「目標とする」、「予定である」等の用語及びこれらに類似する表現を使用する場合があります。また、将来予想に関する記述は、戦略、計画又は意図に関する議論により特定可能な場合もあります。本プレゼンテーション資料に記載されている将来予想に関する記述は、当社が現在入手可能な情報を勘案した上での、当社の現時点における仮定及び判断に基づくものであり、既知及び未知のリスク、不確実性その他の要因を含んでいます。当該リスク、不確実性その他の要因により、当社の実際の業績又は財務状態が、将来予想に関する記述により表示又は示唆されている将来の業績又は財務状態から大きく乖離する可能性があります。

当社以外の会社又は当事者に関連する情報又はそれらにより作成された情報は、一般的に入手可能な情報及び本プレゼンテーション資料で引用されているその他の情報に基づいており、当社は、当該情報の正確性及び適切性を独自に検証しておらず、また、当該情報に関して何らの保証もするものではありません。

本プレゼンテーション資料で使用された財務情報は、別途明記する場合を除き、国際会計基準審議会により策定された国際財務報告基準(IFRS)に基づき作成されております。

目次



2015年12月期実績 : P3

2016年12月期見通し : P10



1. 2015年12月期 通期実績

業績ハイライト



- 売上収益、営業利益、当期利益がそれぞれ過去最高
- フリーキャッシュフローが大幅に改善
- 戦略的な取り組みが順調に進捗
- 期末配当33円を予定

(2015年下期相当分、配当利回り年率は公募価格ベースで4%相当)



2015年12月期 連結業績

- 連結売上は対前年8.7%増の392億円、調整後営業利益は11.1%増の76億円、調整後当期利益^(※1,2)は19.0%増の52億円とそれぞれ過去最高を更新
- 期末配当33円を予定

(百万円)

	FY2014	FY2015	
	実績	実績	前年比
売上収益	36,049	39,178	+8.7%
営業利益	5,218	7,110	+36.3%
(参考)調整後営業利益 ^(※2)	6,806	7,562	+11.1%
EBITDA	6,924	8,890	+28.4%
(参考)調整後EBITDA ^(※2)	8,511	9,342	+9.8%
当期利益 ^(※1)	3,843	4,476	+16.5%
(参考)調整後当期利益 ^(※2)	4,393	5,230	+19.0%
調整後基本的1株当たり当期利益(円) ^(※2)	112.24	133.27	+18.7%

■ 期末配当は、2015年下半期分相当として33円 (2016年度以降は年2回配当を計画)

(※1)“当期利益”は、本項以降、“親会社の所有者に帰属する当期利益”を記載しております

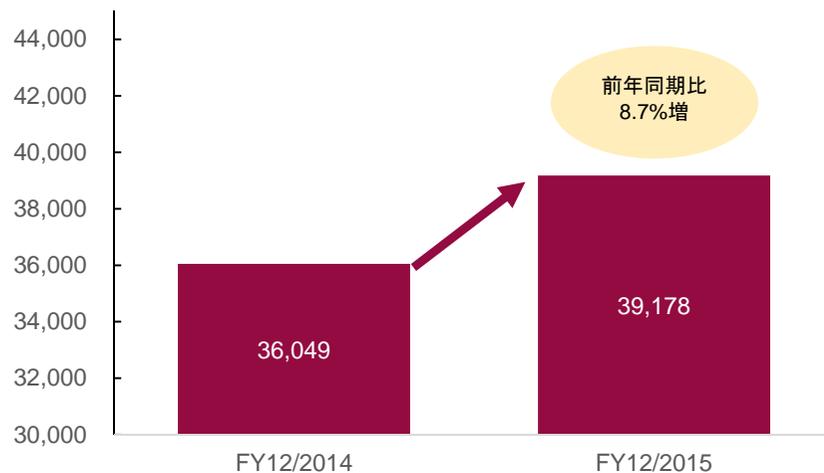
(※2)上場関連費用等の一時的要因費用を調整した額を記載しております。



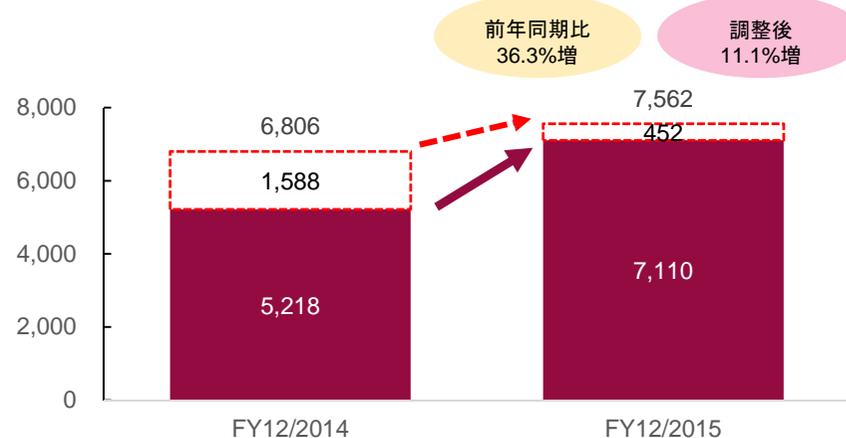
主要業績指標の推移-1

(百万円)

売上収益

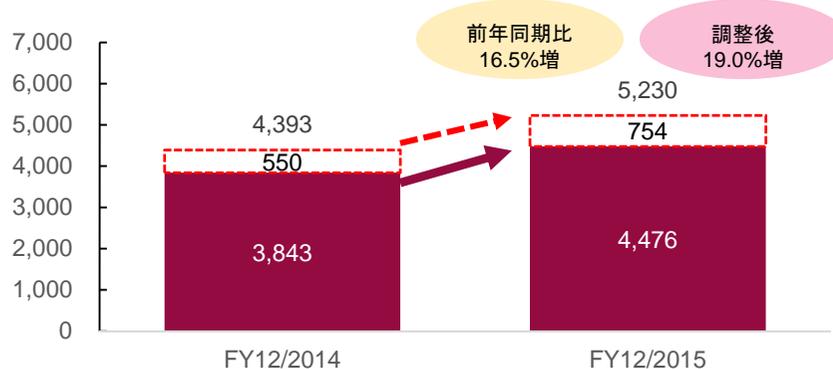


営業利益



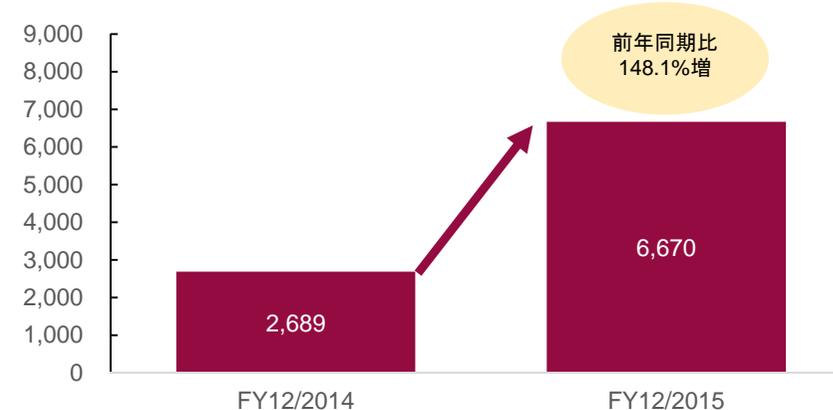
(※) 上場関連費用等を除外した調整後の営業利益は、FY2014: 6,806百万円、FY2015: 7,562百万円(前期比11.1%増)となります。

当期利益



(※) 上場関連費用等を除外した調整後の当期利益は、FY2014: 4,393百万円、FY2015: 5,230百万円(前期比19.0%増)となります。

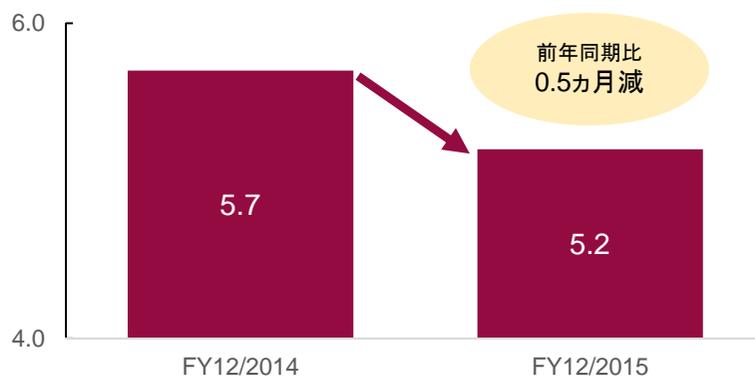
フリーキャッシュフロー



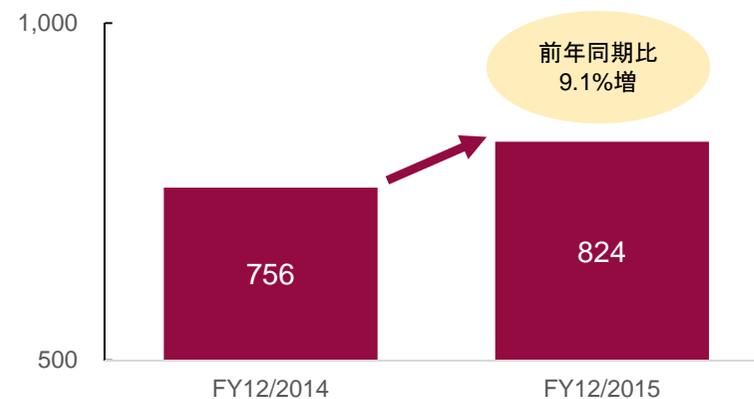


主要業績指標の推移-2

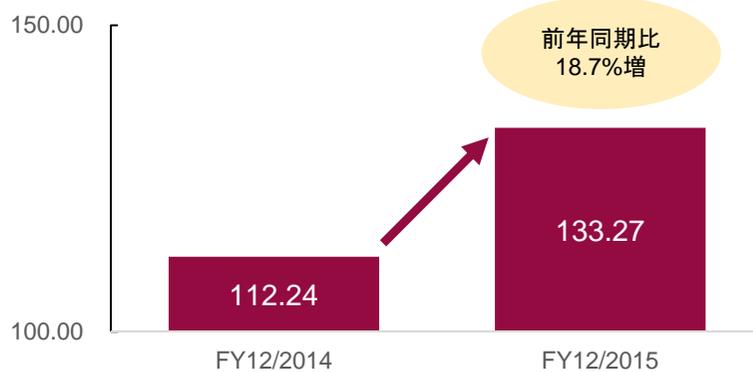
棚卸資産回転月数 (月)



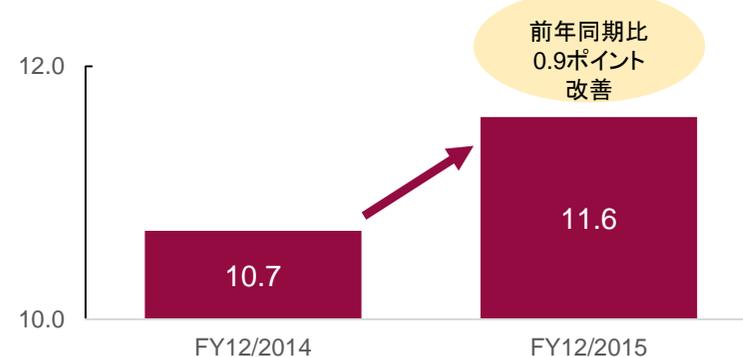
設備投資額 (百万円)



調整後基本的1株当たり利益 (円)



調整後ROE (%)



(※) 上場関連費用等の一時的要因費用を調整した額を記載しております。

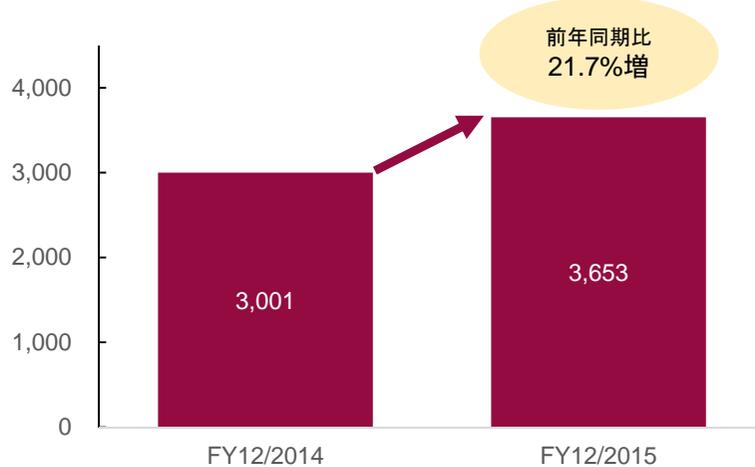
(※) 調整後ROEは、親会社の所有者に帰属する当期(四半期)利益、並びに独占禁止法の課徴金及びアドバイザー費用、借換え関連費用など(それぞれ税効果考慮後)を含む様々な一時費用並びにその他の費用の合計額から為替差損益(税効果考慮後)を除いたものである調整後親会社の所有者に帰属する当期(四半期)利益を、資本合計(非支配持分を除いた期末残高)で除して算出しております。

戦略的な取り組みの進捗 2014-2015

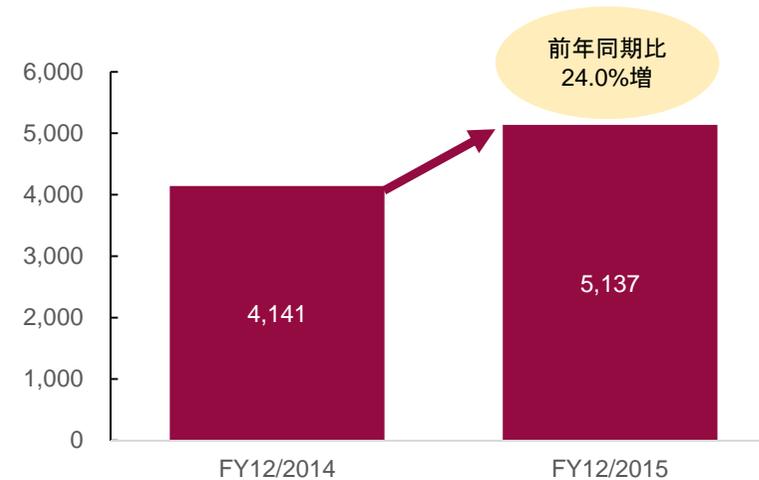


(百万円)

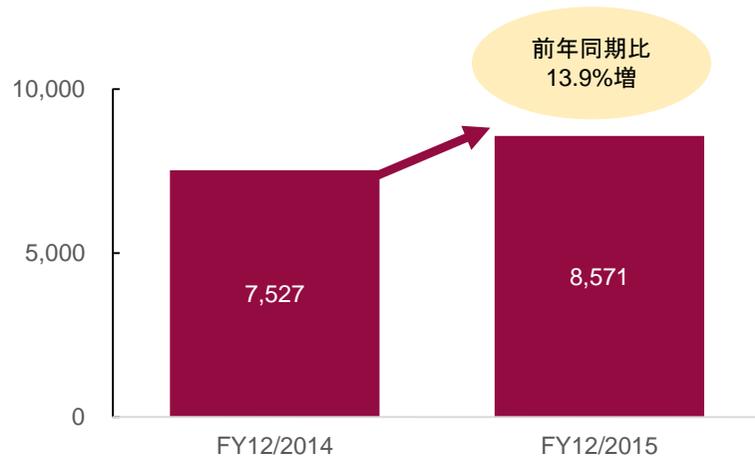
海外のお客様への売上拡大



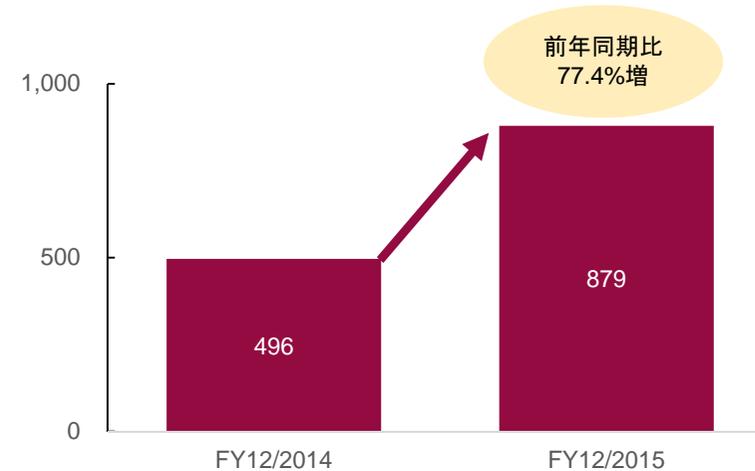
セラミックボールの拡販



アジア市場での成長



新領域の開拓

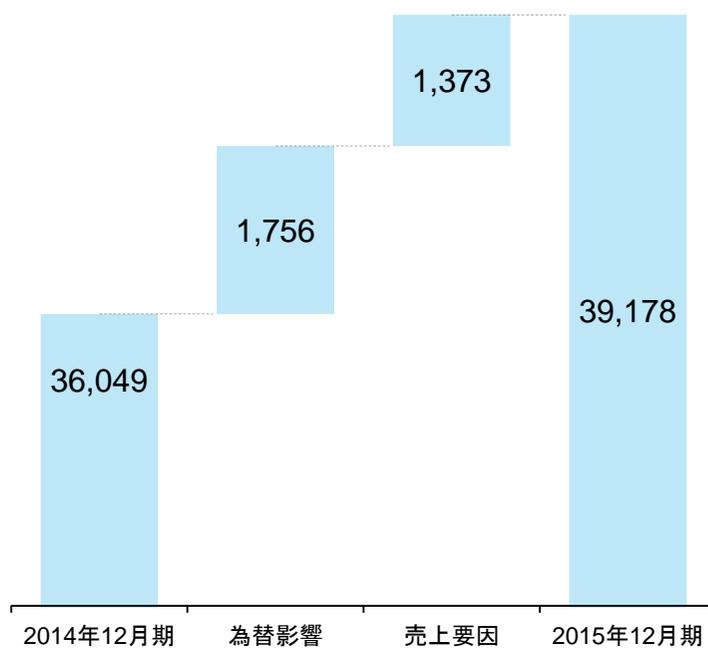




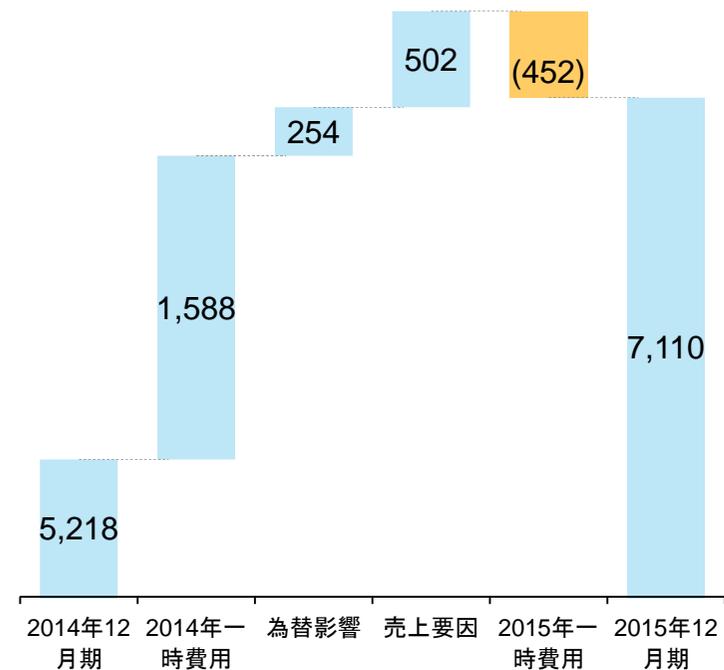
売上収益・営業利益の増減要因 2014 - 2015

(百万円)

売上収益



営業利益





2. 2016年12月期 見通し



- **最高利益額の更新を目指す**
- **成長戦略の推進**
- **グローバル連携によりさらなる効率化の推進**
- **バランスシートマネジメントの強化**
- **目標配当性向50%の継続**

2016年12月期 業績見通し



(百万円)

為替影響を販売イニシアチブでカバーし、高収益率を維持

	FY2015	FY2016	
	実績	見通し	前年比
売上収益	39,178	39,200	+0.1%
営業利益	7,110	7,600	+6.9%
EBITDA	8,890	9,300	+4.6%
(参考)調整後EBITDA(※)	9,342	9,300	-0.5%
当期利益	4,476	5,000	+11.7%
(参考)調整後当期利益(※)	5,230	5,100	-2.5%
基本的1株当たり当期利益(円)	114.06	125.72	+10.2%

(※)上場関連費用等の一時的要因費用を調整した額を記載しております。

- 年間配当性向は50%を目指し、配当金額は、第2四半期末は30円、期末は配当33円を予想
- 業績予想の為替レートは、1ドル115円、人民元17.5円を想定 (2015年実績 1ドル121.05円、人民元19.22円)